

「令和5年度学生による授業評価アンケート」 専門学校

【目的】

本学では、教育の質の向上を目的に「学生による授業評価アンケート」を実施している。本学が実施している「学生による授業評価アンケート」は、各学期終了時に学生の学習態度や授業に対する意見を集約し、それを踏まえて今後の授業内容や授業方法の改善に取り組むための基礎資料とするものである。

【実施方法】

1. 実施内容および手順

「学生による授業評価アンケート」は、少人数の授業を除き、全科目を対象として原則、前期・後期の授業最終日に実施している。

アンケート内容は、学生自身の学習についての評価と教員や授業に対する評価から構成されている。9項目について、「そう思う＝4」「まあそう思う＝3」「あまりそう思わない＝2」「全然そう思わない＝1」としてマークシートにより評価し、自由記述において、良かった点や具体的改善案が記載できるようになっている。また教員が尋ねたい項目を自由に設定できる欄を設けている。

アンケート内容は、定期的に見直しを行っており、本年度は、以下の項目で調査を実施している。

	具体的項目
学生自身の学習についての評価 (3項目)	①授業の内容を理解できたか
	②授業の内容に興味や関心を持ったか
	③この授業に意欲的に取り組んだか
教員や授業に対する評価 (6項目)	④話し方
	⑤取り組み姿勢
	⑥構成や進行速度
	⑦学生に対する対応
	⑧教材
	⑨満足度
自由記述	①良かった点
	②具体的改善案
	③各教員が尋ねたい内容

実施手順は、授業クラスごとに教員から学生にアンケート用紙が直接配布され、学生代表者がこれを収集し、学務課窓口に提出する方式である。

2. 集計方法

回収されたアンケート用紙は、業者に依頼して集計を行っている。入力の際には学生個人を特定するデータは一切含まれていない。

3. 結果の報告

アンケート結果は授業クラスごとに集計され、自由記述部分と合わせて、担当教員に配布される。集計結果は、9項目について評価平均と度数分布表を示し、全学平均を表示し、教員が自分の授業の評価位置付けを把握できるようにしている。

各教員はその結果を検証し、授業を改善する具体的方策を検討し、授業改善を行っている。検証した内容および改善内容については「総括と意見」にまとめている。教職員や学生は、授業評価アンケート結果および検証結果である「総括と意見」は、図書情報センターにて閲覧できるようになっている。また各年度の全体的な傾向および経年変化は、ウェブサイトにて公表している。

【アンケート集計結果】

1. 前期

		学生自身の評価			教員に対する評価					総合評価	
		設問1 理解度	設問2 興味関心	設問3 学習意欲	設問4 話し方	設問5 授業取組	設問6 構成速度	設問7 学生対応	設問8 教材効果		設問9 満足度
専門学校全体		3.52	3.59	3.43	3.65	3.78	3.66	3.74	3.66	3.67	
専門学校	1年	全体	3.50	3.62	3.36	3.61	3.76	3.59	3.77	3.62	3.66
		講義	3.47	3.57	3.37	3.62	3.76	3.59	3.78	3.59	3.67
		実習	3.56	3.75	3.33	3.60	3.77	3.60	3.73	3.69	3.65
	2年	全体	3.54	3.56	3.49	3.68	3.80	3.71	3.72	3.69	3.68
		講義	3.42	3.47	3.42	3.61	3.75	3.62	3.66	3.61	3.61
		実習	3.73	3.72	3.61	3.80	3.88	3.84	3.82	3.81	3.79

※ 専門: 演習科目は実習科目に含めて加重平均を算出。

2. 後期

		学生自身の評価			教員に対する評価					総合評価	
		設問1 理解度	設問2 興味関心	設問3 学習意欲	設問4 話し方	設問5 授業取組	設問6 構成速度	設問7 学生対応	設問8 教材効果		設問9 満足度
専門学校全体		3.50	3.55	3.45	3.61	3.72	3.67	3.69	3.66	3.68	
専門学校	1年	全体	3.61	3.62	3.49	3.74	3.74	3.71	3.77	3.69	3.72
		講義	3.58	3.58	3.48	3.70	3.69	3.62	3.73	3.63	3.67
		実験	3.47	3.47	3.26	3.66	3.68	3.74	3.76	3.66	3.70
		実習	3.83	3.86	3.75	3.89	3.89	3.86	3.83	3.83	3.85
	2年	全体	3.41	3.49	3.43	3.51	3.70	3.64	3.63	3.63	3.65
		講義	3.37	3.42	3.37	3.48	3.66	3.61	3.58	3.57	3.60
		実験	3.45	3.68	3.45	3.77	3.77	3.73	3.73	3.73	3.76
		実習	3.59	3.66	3.69	3.48	3.83	3.72	3.76	3.83	3.79

※ 専門: 演習科目は実習科目に含めて加重平均を算出。

全体を通して例年に比べ、学生自身の評価および教員に対する評価が高く、総合評価（授業への満足度）は前期 3.67、後期 3.68 であり、授業に対して満足している様子が伺える。

学生自身の学習についての評価を見てみると、1 年生は「興味関心」全体平均は前期、後期ともに平均が 3.62 と高い値である。「学習意欲」全体平均は、前期 3.36、後期 3.49 であり例年に比べて高く、前期よりも後期が高い値である。2 年生はいずれの項目も前期より後期の平均が低くなっている。

教員に対する評価については、いずれの項目も平均がほぼ 3.5 以上となっており、多くの学生が「4=そう思う」という評価していることが推察される。特に「授業取組」全体平均は、前期 3.78、後期 3.72 と高い値であった。

【今後の課題】

授業への満足度は例年に比べ高い結果であった。学生自身の学習に対する評価については、2 年生が後期に低下している結果は例年同様であったが、昨年比べて高い値であり学習に臨む姿勢が数値に反映されたと考える。1 年生は後期に高くなっていることから授業に対する興味、関心と学習意欲が高く保たれていると推察される。

授業評価アンケートは単なる教員や授業への評価ということだけではなく、学生が自身の学習について振り返りを促し、学習に臨む姿を把握する手段として有効と考えられる。今後も継続して検証を行い教員自身の授業改善を実施していく。